



CNHR Newsletter

CENTER FOR NATURAL HAZARDS RESEARCH, HOKKAIDO UNIVERSITY

北海道大学 広域複合災害研究センター

Vol.17 September 2025 – January 2026

■新任者のご挨拶

新しく着任したメンバーからのご挨拶

兼務教員(10月1日付)大園 真子(理学研究院教授)

理学研究院附属地震火山研究観測センターで、GNSS(全球測位衛星システム)などの測地観測データを使って、地震や火山の活動に関する地殻変動を中心とした研究を行っています。地球科学の視点から、地震・火山に関係する災害予測や防災につながる研究も進めていけたらと考えています。どうぞよろしくお願い致します。

兼務教員(10月1日付)山中 悠資(理学研究院准教授)

津波や巨大地震に関する研究を実施しており、それらの現象解明や海岸防災に貢献することを目指しています。理学・工学的な研究の両方を行っており、最終的には社会に成果を還元できるような、分野横断的な研究を展開できればと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

■活動報告

■ 研究会の開催(8月6日)

令和7年7月30日に発生したカムチャツカ半島地震を受けて、センターメンバーによる勉強会を開催しました。谷岡勇市郎CNHR学術研究員からカムチャツカ半島地震の発生メカニズムについて、釧路市職員の高田勇気氏(CNHR研究員)から、釧路市の対応状況について話題提供をいただきました。

■ 「道新みんなで考える防災展」特別協力(9月27日, 28日)

札幌パークホテルで開催された「道新みんなで考える防災展」に特別協力として参加しました。当センターからはブースを出展するとともに、以下の講演を実施いたしました。また、江丸貴紀工学研究院准教授・CNHR兼務教員により、レスキューロボット操作体験のブース出展がありました。

- 北海道における大規模災害の経済的影響(川村壮CNHR特任准教授)
- 津波への備え-7月30日カムチャツカ半島巨大地震による津波-(谷岡勇市郎CNHR学術研究員)
- 99年前に発生した十勝岳対象泥流の実態と教訓(南里智之CNHR教授)
- 冬季の交通障害に関連する道路管理のための仕組み(高橋翔工学研究院准教授・CNHR兼務教員)

■ R7シンポジウムの開催(10月7日)

このたび、釧路市にてR7シンポジウム「巨大地震が引き起こす広域複合災害の影響と減災」を開催しました。詳細はNewsLetterVol.16シンポジウム特集号をご覧ください。

■ 講義・リカレント教育プログラム

後期の「災害対策実践論」「突発災害危機管理論」は、当センター初の取り組みとして、リカレント教育プログラム「広域複合災害減災を強力に推進する専門人材養成プログラム(N-HRP)」を兼ねて実施しました。受講いただいた皆様にお礼申し上げます。



(写真: ワークショップ形式の講義)

■活動報告

■ 砂防学会北海道支部講習会(10月17日)

今年で発生から100年になる十勝岳大正泥流の動態と被害の実態をテーマに、上富良野町で開催された講習会で、山田孝農学研究院特任教授・CNHR兼務教員と南里智之CNHR教授が話題提供を行いました。関係行政機関や民間、マスコミ、一般住民の70名が会場に、130名がオンラインの合計200名にのぼる多くの方々に参加いただき、盛況なイベントとなりました。講習会の様子は地元でテレビのニュースや新聞で紹介されるなど、大正泥流災害から100周年の節目に向けて注目度も高まっています。

■ VTOL型固定翼UAVの有珠山周辺試験飛行(10月22日)

有珠山の次回噴火に備え、国内初の試みとして、長距離飛行が可能なVTOL型(垂直離着陸)固定翼UAVを用いて、高精度な地形計測技術の実証を目的としたレベル3.5(目視外飛行)での試験飛行を実施しました。当センターHPに飛行時の動画のリンクを掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



(写真: 今回使用した機材)

■ インドネシア訪問(11月)

ジョグジャカルタ市のガジャマダ大学、公共事業省砂防技術センターを訪問し、当センターとの今後の連携方針について現地の研究者や技術者と意見交換を行いました。また、現在、活発な噴火活動を継続しているメラピ山周辺の防災施設などの現地視察を行いました。詳細は当センターHPに公開しています。



(写真上: ガジャマダ大学の研究者との意見交換の様子、写真下: 現地視察状況)

■お知らせ

当センターでは今年度の後期(10月~)から、社会人の方を対象としたリカレント教育プログラム「**広域複合災害減災を強力に推進する専門人材養成プログラム(N-HRP)**」を開講しました。

当センターで開講している大学院共通授業科目「突発災害危機管理論」「災害対策実践論」を受講いただく形で、防災について幅広く学ぶことができます。オンデマンドによる受講も可能です。関心のある方は次年度の受講をぜひご検討ください。内容の詳細等、お気軽にお問合せください。

当センターでは、北海道各地の防災担当者と広域かつ緊密に連携を図っていきます。ご質問やご意見などお気軽にお尋ねください!

北海道大学 広域複合災害研究センター

〒060-8589 北海道札幌市北区北9条西9丁目

Tel: 011-706-3882/4696 Fax: 011-706-4695

ホームページ: <https://www.cnhir.info/>

メールアドレス: cnhr_unei@agr.hokudai.ac.jp

メンバー活動報告

氏名	所属・役職	専門	最近の活動内容(研究課題など)	研究グループ
山田 孝	農学研究院・特任教授	砂防学	広域複合災害減災手法(特に、異種ハザードの重なる区域での災害シナリオと減災手法)、土砂・流木災害減災手法、土砂災害自衛工法、火砕流被害想定手法	複合災害
厚井 高志	副センター長 CNHR・特任准教授	広域複合災害減災学、 砂防学	火山噴火または地震に伴う大規模土砂生産イベント後の土砂・流木動態に関する研究	
上田 佳代	医学研究院・教授	環境保健、疫学	気候変動に伴う極端事象が医療や福祉体制に及ぼす影響に関する研究	災害医療システム
方波見 謙一	北海道大学病院・助教	救急医学	DMAT全国訓練参加(南海トラフ地震対応)、DMAT北海道訓練参加(千島海溝地震対応)	
橋本 雄一	文学研究院・教授	人文地理学	地理空間情報を用いた積雪寒冷地の災害時避難に関する研究	災害社会・減災教育
中嶋 唯貴	工学研究院・准教授	地震工学、 建築情報学	季節変動性を考慮した人的被害評価手法の開発と防災・減災手法の構築	
田中 岳	工学研究院・助教	水文学	降雨流出系の確率応答解析に立脚した洪水予測システムの合理的な構築方法に関する研究	
川村 壮	CNHR・特任准教授	広域複合災害減災学、 人文地理学、災害経済分析	GISとマイクロジオデータ(高精細・高密度な地理空間情報)を用いた市街地形成過程の解明と災害リスクへの影響に関する研究	災害社会経済評価
清水池 義治	農学研究院・准教授	農業経済学、 農産物・食品流通	広域災害が農産物サプライチェーンに及ぼす影響評価と予測	
山本 忠男	農学研究院・准教授	農業土木学、 農村計画学	田んぼダム導入における農家の動機形成に関する研究	
青山 裕	理学研究院・教授	火山学	北海道の活動的火山における火山現象の力学的観測研究	ハザード・災害発生予測
石川 達也	工学研究院・教授	地盤工学	気候変動に伴う積雪寒冷地の斜面災害形態変化の体系化とそのリスク評価に関する研究	
泉 典洋	工学研究院・教授	河川工学	洪水時における河床変動とそれによる河床粗度の変化や河岸侵食・河道変動のメカニズム	
稲津 将	理学研究院・教授	気象学	数値計算・データ解析による気象力学および応用気象学の研究	
大園 真子	理学研究院・教授	測地学、地震学、火山学	測地学的観測手法を用いた地震や火山の活動に関する地殻変動の研究	
笠井 美青	農学研究院・教授	砂防学	山地流域における災害後の地形変化の把握と予測	
山田 朋人	工学研究院・教授	水文学	気候変動予測手法の開発と洪水リスク評価に関する研究、地球水循環システムと極端現象の解明に関する研究	
渡部 靖憲	工学研究院・教授	海岸工学	異常海象下の海岸災害インパクトに関する研究	
高橋 翔	工学研究院・准教授	情報工学、交通工学	画像・映像解析による積雪寒冷地の冬期道路環境モニタリングに関する研究、ハザード・リスクに関する動的な情報提供に関する研究	
山中 悠資	理学研究院・准教授	津波・海岸工学、地震学	津波の波動と震波源のモデル化に関する研究	
桂 真也	農学研究院・助教	砂防学	山地小流域における水文過程および崩壊・地すべり発生予測に関する研究	
谷岡 勇市郎	CNHR・学術研究員 (前理学研究院・教授)	地震学、津波学	広域津波災害軽減に向けた近年設置された海底地震津波観測網(S-net)を用いた津波即時予測手法の開発研究	ソフト減災・災害ケア 研究グループ
岡田 成幸	CNHR・客員教授 (前CNHR・特任教授)	地震防災計画学 (建築系)	地震被害想定手法並びに防災・減災対策に関する提言、人為的災害に対する防災原理の倫理的選択と価値判断の考察	
佐々木 貴信	センター長 農学研究院・教授	木質構造	災害発生時の倒流木等の利活用に関する研究	
高橋 幸弘	理学研究院・教授	リモートセンシング、 雷観測	超小型衛星を用いた大規模災害の即時的な観測、およびそれを実現する国際連携の構築	復興・減災まちづくり
永田 晴紀	工学研究院・教授	宇宙推進工学	小型深宇宙探査機用ハイブリッドキックモータの開発	
南里 智之	CNHR・教授	広域複合災害減災学、 砂防学	火山地域での泥流、土石流、火砕流等の流下・氾濫とその対策に関する研究	
渡部 要一	工学研究院・教授	地盤工学	火山灰質土により造成された盛土地盤の液状化特性	
江丸 貴紀	工学研究院・准教授	ロボット工学、 制御工学	大規模フィールドの管理を目的とした非均一なUGV・UAV群によるロボスタSLAM、港湾の維持管理を目的としたGNSSトラッカーの開発	
山口 真司	CNHR・客員教授 (政策研究大学院大学・教授)	地域防災・マネジメント学	災害時初動に着目した応急対策実施企業の選定に関する研究、地域から切り離せない重要文化財の土砂災害からの保全に関する研究	

氏名	所属・役職	専門
岡田 成幸	客員教授(アジア航測株式会社顧問・前広域複合災害研究センター特任教授)	地震防災計画学(建築系)
奥野 信宏	客員教授(名古屋都市センター長)	公共経済学
小山内 信智	客員教授((一財)砂防・地すべり技術センター研究顧問・元農学研究院特任教授)	砂防学
今日出人	客員教授(株式会社ドーコン代表取締役社長)	地域防災学
萩原 亨	客員教授((一財)北海道道路管理技術センター顧問・前広域複合災害研究センター特任教授)	交通工学
松本 浩司	客員教授((一財)砂防・地すべり技術センター理事・前NHK解説委員)	災害報道、メディア論、地域防災
南 哲行	客員教授((一財)砂防・地すべり技術センター相談役兼顧問・元国土交通省砂防部長)	国土保全学
室田 哲男	客員教授(政策研究大学院大学教授・(一財)砂防・地すべり技術センター理事)	危機管理法政策、消防・防災・減災政策、危機管理法制
山口 真司	客員教授(政策研究大学院大学教授・前広域複合災害研究センター特任教授)	地域防災・マネジメント学
佐野 寿聡	研究員(アジア航測株式会社)	リモートセンシング、防災減災調査計画
島田 勇気	研究員(釧路市)	地域防災、防災行政
村上 泰啓	研究員(北海道開発局)	リモートセンシング、地被環境解析
原田 和子	事務補助員	—